

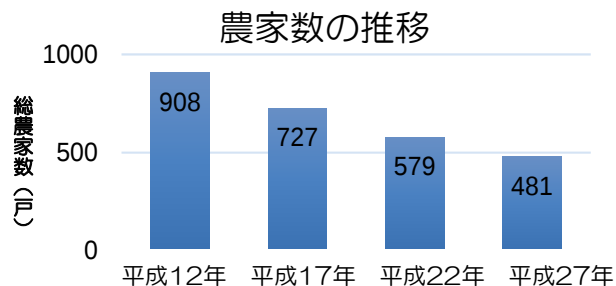
Point

農家レストランを地域の核として位置づけ、6次産業化を推進するとともに体験農園の整備を行い、農業後継者・担い手の確保による定住人口の増加につなげる。

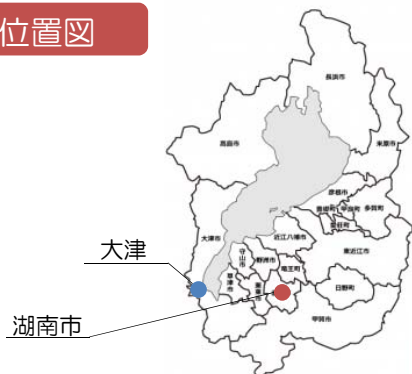
地域の課題

岩根地区では、農地の大部分を水稻が占めており、近年の米需要減少、急激な米価の下落の影響や農業後継者不足により、農業の衰退が見られる。

そのため、米作に変わる農業の推進と6次産業化により安定した地産地消サイクルを確立させ、農家数の減少に歯止めをかける必要がある。



位置図



活性化計画

地域産物の販売額**17,930千円増**、**雇用者数1人増**



市民産業交流促進施設（ここびあ）
※他事業で整備



体験農園



地産地消レストラン

地域の課題を解決するため、水稻から園芸作物への転換を図るとともに、地域の核となる受入機能強化施設（地産地消レストラン）や農林漁業・農山漁村体験施設（体験農園）を整備。

地域で生産された農産物を活用した食材の提供を行い、地域で継続的に雇用と所得を生み出すことで、地域農産物を活用した6次産業化の促進を図り、農業後継者・担い手確保による、定住人口の増加につなげる。

交付金事業内容

事業期間：H28年から2年間

事業費：230,113千円（国費114,736千円）

事業目標：地域産物の販売額の増加（11,740千円⇒17,930千円増）
雇用者数の増加（0人⇒1人増）

事業主体：湖南市

事業内容：地産地消レストラン1棟 443㎡、体験農園1,600㎡



農家レストラン・体験農園